



7月のできごと



犯罪や非行のない明るい社会へ

第67回“社会を明るくする運動”の広報キャンペーン活動が、7月4日にAコープ知名店前でありました。南大島保護区保護司会（知名支部長 木脇茂盛氏）から一日保護司として委嘱された町内各小・中学生7名と関係者でキャンペーン用品などを買物客に配りながら、明るい社会づくりを呼びかけました。



子どもたちに将棋の魅力

山下達成氏（知名字）による将棋教室が、7月3日から19日まで認定子ども園すまいるでありました。この将棋教室は、子どもたちが将棋を通して頭のより良い使い方を覚え、今後の成長に役立てて欲しいと山下氏が企画。目標は年長の園児たちが卒園するまでに将棋を指せるようになることで、今後も継続して教室が行われるそうです。



まちをきれいに

「知名町建設有志会ボランティア作業」が、7月7日に町内全域で行われました。建設業者の皆さんを中心に総勢70名以上が参加し、町道や農道、公共施設周辺の伐採作業を行いました。炎天下のなかでの作業でしたが、1日足らずで各箇所の外観はスッキリと改善し、きれいなまちになりました。



サトウキビを考える

「おきのえらぶサトウキビ産業シンポジウム」（沖永良部さとうきび生産対策本部主催）が、7月6日にあしびの郷・ちなでありました。このシンポジウムでは、サトウキビコンサルタントの杉本明氏と東北大学名誉教授の石田秀輝氏による講演が行われたほか、地元糖業関係者によるパネルディスカッションなどがありました。



お気軽にご相談ください

6月30日で人権擁護委員の任期満了となった朝戸武勝氏の後任に園田公子氏が就任され、7月10日に町長室で委嘱状の伝達がありました。園田氏は就任にあたって「永年、住民とかかわりを持った仕事の経験を活かし、女性の立場で相談しやすい人権擁護委員をめざし人権思想の普及高揚に努めてまいります」と抱負を述べました。



町民の安全・無病息災を祈願

第170回「大山神社例祭」が、旧暦の5月16日となる7月9日に大山神社でありました。役場や議会、自衛隊、猟友会、区長会など関係者約70名が出席し、山の恵みに感謝したほか、町民の安全や無病息災を祈願しました。例祭では、祝詞奏上、玉串奉てんなどの神事が執り行われました。